

『人の輪(和)と絆こそが人道の礎』

平成23年3月11日、午後2時46分は、忘れることのできない日時として歴史に重く刻まれます。

東日本大震災は、未曾有の災害であり、まさに国難でありました。たくさんの家屋や人命を飲み込んだ津波は、被災者はもとより国民一人一人にあまりにも大きな心の傷跡を残しました。被災者の心の傷を癒す方法は見つかりませんが、世界の人々が日本に眼と心を向けてくれていることに日本人としての誇りを実感します。「小さなことだ

けど、何かの役に立てば」と言つて善意を寄せるイギリスの老婦人の姿を見ました。アメリカのポストンからは、「日本は混乱の中で秩序と礼節が守られている。これこそが日本人の心だ」との声に評価の高い日本人の姿を見ることができました。

ある人の書いたエッセイの中に「ツナミ」「キズナ」は世界共通語という文に触れる機会がありました。「絆」という語は、すでに死語に近い言葉ですが、公益社団法人は、「思いは見えないけれど

思いやりは見える。心は見えないけれど心づかいは見える」という言葉をテレビ画面を通して報じていました。まさに、日本人・人類相互の「絆」の再生です。

戦後の状況にも似た今だからこそ、日本人が忘れかけていた古の文化や心を再生することが求められます。言葉に絶する状況下で、「小さいながらキラリと光る」ものを人道の礎として子孫に残したいものです。

人権擁護委員

稲葉 日出夫

我が家のニューフェイス



野沢 実穂ちゃん

生年月日 平成22年6月5日
(大字安戸)

お父さん：秀信さん
お母さん：順子さん

はじめまして！いつも元気な女の子の「みほ」です。よろしくね。

お母さんがニコニコすると、みほも笑顔になります。みほがニコニコするとお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんも笑顔になります。笑顔ってすてきね！

版画フォーラム2011 和紙の里ひがしちちぶ展

版画芸術と地域文化の振興・版画家と愛好家の交流を目的に、和紙の伝統を持つ東秩父村和紙の里で下記のとおり開催されます。

昨年度は全国から300点余りの出品があり、約2,000人以上の方が和紙の里に見学に訪れました。また、期間中は小版画の摺りや彫刻刀の砥ぎの実演、版画ナビゲーターなどの各種の催し物も企画されています。ぜひお出かけください。

日時 6月25日(土)～7月3日(日)
午前10時～午後4時
(最終日は午後2時)

会場 東秩父村和紙の里
主催 版画フォーラム実行委員会
問合せ 事務局 ☎090-8940-0808

ふるさとセミナー(歴史探訪講座)

公民館では「歴史探訪講座」を4回シリーズで行います。今回の講座は、中世の東秩父村にスポットをあてます。戦国時代、この地方でも多くの攻防がありましたが、そのような時代のふるさととの風景を学びます。ぜひご参加ください！参加費は無料です。

- 講師 梅沢 太久夫 氏 (東秩父村文化財保護審議会会長)
- 1回目講座 日時：6月28日(火) 午後1時30分～3時30分
会場：コミュニティセンター「やまなみ」(集会室)
内容：全体的講義 武蔵戦国・概観(約2時間)
- 2回目講座 日時：7月12日(火) 午後1時30分～3時30分
会場：コミュニティセンター「やまなみ」(集会室)
内容：松山城と上田氏(約2時間)
- 見学会① 10月18日(火) 予定 松山城とその周辺
(村研修バス使用)

- 見学会② 11月15日(火) 予定
上田氏の本領・大河原谷を歩く(安戸→浄蓮寺)
1回目、2回目講座の募集をします。見学会については次回募集します。

申込み・問合せ 教育委員会事務局 ☎82-1230